

1. 日 時 令和4年12月4日（日）午前10時～12時
2. 場 所 片町文化センター 講堂
3. 出席者 15名
4. 書 記 芝喜久子

5. 地域市民の集いの概要 【司会進行：谷本事務局長】

(1) 挨拶 志水会長

(2) 府中市自治会連合会役員と出席者自己紹介

自治会連合会：志水、谷本、椋田、山岡、筒井、川辺、久保寺、芝（8名）

片町文化センター圏域：大瀧、浦野、臼井、鶴田、桑田、宮崎、小澤（5団体：7名）

(3) 府中市自治会連合会／自治会についての説明（谷本）

四部会と懇談会の時間を多く取りたいので省略。

(4) 四部会の活動状況

・市民協働対策部（山岡）

市の市民協働推進会議に参画し市と協働、分梅の駅周辺の町づくりの為市民協働活動、自治会活動賠償保険の説明と推奨。

・生活安全対策部（谷本事務局長）

部長は他の会と重なっているので谷本事務局長が説明。この部の仕事は防災対策が主である、災害時の備蓄の必要性を伝える。災害時は転倒防止・トイレの問題・食事の問題の三点が重要である。安否確認のステッカー等助成金で準備するとよい。

・環境対策部（川辺）

市の空き家対策の関係を勉強しながら町の事を考えていく。年1回の視察研修（ビッグサイト）

・福祉対策部（久保寺）

府中市と連携して高齢者の要援護。府中市の第42回福祉まつりが3年ぶりに実施された、樺並木に81のブースが並び自治連合会のブースも出た、実行委員会に参加。年1回の視察研修（ビッグサイト）

・デジタル部会（仮称）について（谷本）

自治会がタブレットをどのように利用していくのか、市も来年2月を目途に各町会への連絡をタブレットで利用出来るよう進めたい意向。自治連としても力を入れていく。自治連にあるタブレットは貸し出しするので利用可。来春にはデジタル部会を創設予定。

(5) 懇談会

①懇談会に入る前にと事務局から一言、東京都の生活文化局が防災の助成金申請の期日を12月15日迄延長した、20万の助成は大きいのでお伝えする。今迄の都の助成よりゆるい書類作成だ、事務局も作成を手伝うので是非活用してほしい、助成金で購入した品物を会員に配りコミュニケーションが図れる。

②東北の震災等の例をあげながら家庭に備蓄しておきたい簡易トイレ・避難食等便利なグッズの紹介。

③府中駅周辺の地域の課題、市役所の建て直しで地権者がいなくなってしまう世帯が多い。先輩達とのコミュニケーションが取れなくなっている。マンションが多くなってきている、会員募集が難しい。祭りの為に自治会をまとめているようだ。分梅も大きなマンションが増えている、入会のお願いも出来ない。マンションの管理組合はどこで紹介してくれるのか、自治連は把握できているのか、どこに行けば分かるのか等々の質問が多かった。マンションは情報を掴みにくいので自治会からアドバイスを頂きたいなども。

④自治連合会はマンションの管理者を把握していない、大規模な建築は市の建築指導課に聞けば教えてくれるのでは。市民協働課に管理組合を把握していけるように働きかけたい。

⑤町会加入のお願いは丁寧に、最初はポスティング、その後地区役員が説明に伺うのが良い。新築されたら早めに入会の案内に行くのが効果ある。

⑥少々時間配分が悪く、地域の実情と情報を十分に聞くことが出来ず時間切れとなった。
参加者からの質問や意見を聞く時間を多くすることが求められた。

(6) 閉会 谷本事務局長

会 長		事務局長		総務部長	
-----	--	------	--	------	--